



各 位

2026年2月20日

会社名 株式会社アイナボホールディングス
代表者名 代表取締役社長 阿部 一成
(コード番号: 7539 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役 奥山 学志
(TEL. 03-4570-1316)

中期経営計画（第5次）策定に関するお知らせ

当社は、2025年10月1日から2028年9月30日を対象期間とする第5次中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 中期経営計画策定の目的

第4次中期経営計画期間において、当社グループは取扱商品の拡充や工事品質の向上、営業エリアの拡大に注力しました。特にM&Aによる規模拡大や、省エネ・断熱リフォーム需要の獲得、非住宅分野への挑戦など戦略的な施策を推進しました。その結果、厳しい市場環境の中でも業績は回復基調となりました。一方で、想定外の環境変化や一部統合効果の遅れにより、収益性や採算面では課題も残りました。

今般策定した第5次中期経営計画では「事業基盤の強化」と「収益性の改善」を最優先課題とします。ビジネスモデルの変革、利益構造の再構築、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、そして人材への投資を重点施策として掲げます。M&Aや物流・IT基盤の整備を通じてグループ間の相乗効果（シナジー）を早期に生み出し、資本効率を重視した経営で株主還元の充実も図ってまいります。

2. 経営戦略

(1) 資本政策

- ・資本効率を高めるため、ROE（自己資本利益率）8%を目標とします。
- ・株主還元として、配当性向40%、純資産配当率（DOE）2.6%を目安とし、業績に応じてさらなる還元も検討します。

(2) 投資政策

- ・中長期的な成長に向け、M&Aや設備への戦略的投資を行います。
- ・施工研修センターや物流拠点を活用した「人」への投資により、工事と物流の品質を向上させます。

(3) 財務政策

- ・決算業務のスピードアップを図る体制を作ります。
- ・銀行借入、資本、社債などを組み合わせ、グループ全体の資金調達を効率化します。

(4) ガバナンスの強化

- ・リスク管理プロセス（把握・報告・検証）を確立し、問題の早期発見と対応を徹底します。
- ・内部通報制度の周知と通報者保護を強化し、公正でクリーンな企業風土を醸成します。

(5) DX／IT推進

- ・グループ全体のITシステムを最適化します。
- ・生成AIなどの先端技術を導入して業務を自動化・省力化し、生産性と競争力を高めます。

(6) 人材投資

- ・多様な人材の確保と育成に注力します。
- ・適材適所の人員配置とナレッジ（知識・経験）の共有を進め、グループ全体の現場力を底上げします。

3. 中期経営計画数値目標（連結）

項目	目標値
売上高	1,120 億円
営業利益	31 億円
営業利益率	2.8%
ROE	8%
配当性向	40%
純資産配当率	2.6%

4. 経営課題

(1) 戦略的意思決定

- ・効率的な投資や組織再編を行い、グループ共通の課題へスピーディーに対応します。

(2) ビジネスモデルの変革

- ・サッシ・サイディングなどの新商材へ積極的に対応します。
- ・物流網の整備と業務プロセスの標準化を進め、グループ各社への支援機能を強化します。

(3) 人材の戦略的な活用

- ・採用・教育・研修制度を充実させるとともに、グループ内での人材交流を促進します。

(4) 中期経営計画のコミットメント強化

- ・業績連動型の役員報酬制度の導入を検討します。経営陣が成果に対して責任を持ち、株主価値の向上にコミットする体制を作ります。

(注) 本資料に掲載されている内容は、現時点で入手可能な情報及び一定の前提に基づき作成したものであり、記載された数値目標、施策等の実現を確約し、保証するものではありません。今後の業績等の結果は、様々な要因により、本資料の記載内容と異なる可能性がございます。

以 上